

参加者：鳴原・岡本・小俣（記）

今回、はるばる大阪から来ていただき有難うございました。2日とも秋晴れに恵まれ、晴天の富士山を堪能でき良かったです。

## 長者ヶ岳

11月25日

鳴原・岡本組は前夜大阪発、途中仮眠にて静岡へ、小俣は早朝千葉を立ち、田貫湖畔の休暇村で落ち合う。

休暇村は秋の1日をキャンプで過ごす人・宿舎に泊って湖畔を散策する人などで賑わっている。田貫湖前から富士山がドーンとお出迎えである。



(田貫湖畔からの富士山)

再会を祝した後、登山準備を整え出発。宿舎裏の登山口から登り始める。ひと登りすると展望が広がってくる。眼下に田貫湖、正面に富士山。秋晴れの中素晴らしい景観である。もうひと登り、長者ヶ岳頂上に着くと樹林は東に切り開かれており「頂上→田貫湖→富士山」と一直線に望める。西側は木の間から南アルプスが遠望できる。冠雪していて青空に映えている。



(長者ヶ岳途中からの田貫湖)



(途中からの富士山)



(長者ヶ岳から富士山)

長者ヶ岳から天子ヶ岳へ向けて縦走。天子ヶ岳の頂上はなだらかな山頂でどこが最高点かよく分からない。樹林の中イマイチ展望がなく、この辺りか？と言って通り過ぎる。下山はドンドン下るのみ。植林地に入り、林道に出る。白糸の滝への下山路は標識があるが、田貫湖へ戻る道の標識が無いので、感とナビで山裾の林道をたどる。パラグライダー場に出るとそこからは車道を田貫湖へ戻る。思った以上の道のりで日影だったので、すっかり冷えてしまった。



(漸く下山)

休暇村での入浴が楽しみであったが、タイムアウトで入浴できず、朝霧高原への移動も面倒になり、田貫湖キャンプ場にテント設営することになる。明朝の朝霧高原からのダイヤモンド富士見学は中止となる。

9:00 休暇村→10:10 休暇村分岐→11:00 長者ヶ岳 11:30→12:15 天子ヶ岳 12:25→13:35 林道→14:40 着

## 毛無山

11月26日

キャンプ場を立ち R139 を北上、毛無山登山口へと向かう。朝霧オートキャンプ場駐車場にはす

で多くの車が止まっている。ゲートを超え、登山道に入り、整備された枯れ沢を渡ると下山予定の道との分岐を右へ行く。尾根道をグイグイと登って行くと滝音が聞こえてくる。右の谷が見下ろせる地点に登りつくと「不動の滝」が見えてくる。かなり遠目であるが、落差 100m ありなかなかの迫力である。この辺りより落葉樹の尾根となり、富士山展望台に着くと大きな富士が望める。裾野の広がりが見事！ 主稜線にでると右へ、山頂に着く。さらに最高点の大見岳までピストンして戻る。山頂は東側が切り払われ富士山の眺望はバッチリである。風が強く寒いので、風を避けて斜面を下り富士を正面に眺めながら昼食をとる。

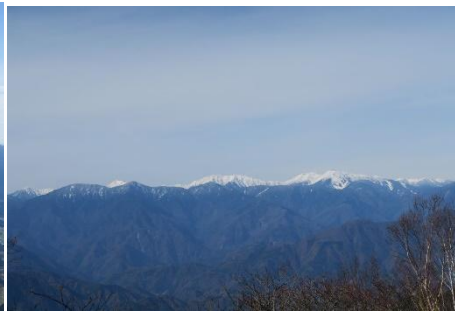
稜線を南へ地蔵峠まで行き、そこから沢沿いの道を下る。何度か沢を渡り返しながらドンドン下っていく。「比丘尼の滝」という大滝にも出会う。紅葉の美しい下山道であった。分岐点に戻ると枯れ沢を渡り駐車場へ。朝霧高原道の駅へ寄り、各々買い物で解散となる。またの再会を楽しみにしております。



(不動の滝)



(比無岳の滝から南アルプス)



(毛無山からの富士山)

7:45 登山口→8:25 不動の滝→9:15 五合目→10:40 富士山展望台→10:50 毛無山（大見岳往復）11:35→  
12:35 地蔵峠→13:40 比丘尼の滝→14:00 駐車場